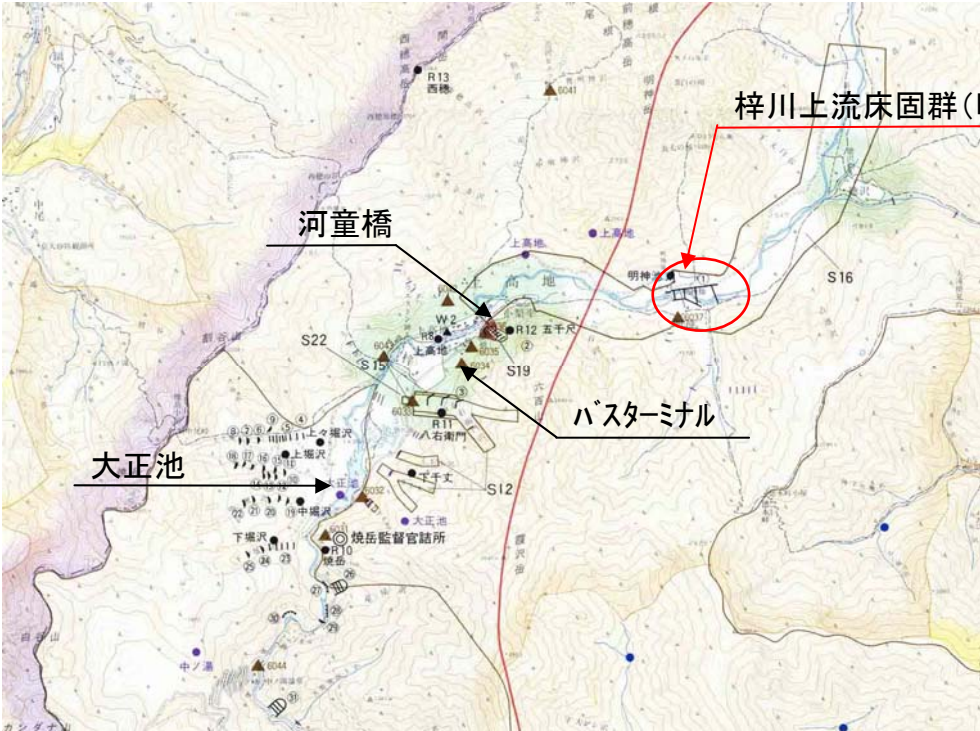


観光社会資本の事例

テーマ	未来につたえよう私たちの上高地『四季が豊かに香る詩情の地』
【施設の状況写真】	
	
上高地明神地区の全景	構造物の出現による違和感を極力 少なく計画された帯工と護岸の設置
【施設の利用写真】	
	
憩いの場として利用される親水性護岸	観光客で賑わう河童橋
【観光資源としての利用状況】	
<p>梓川上流の上高地は、中部山岳国立公園に属し、豊かな自然と特有の動植物に恵まれた日本の代表的な景勝地の一つで、年間180万人もの人々が訪れます。</p> <p>当施設の周辺には、明神橋、明神池、穂高神社、遊歩道、宿泊施設があり、またケショウヤナギ群落を代表とする豊富な自然と環境は、環境資源として、多くの人々が散策や憩いの場として親しんでいます。</p>	

テーマ	未来につたえよう私たちの上高地『四季が豊かに香る詩情の地』
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○名称: 梓川本川上流床固群 ○所在地: 長野県松本市安曇上高地 ○事業名: 砂防事業 ○事業主体: 国土交通省北陸地方整備局 松本砂防事務所 ○事業期間: 昭和 61 年～ 	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>北アルプスの急峻な地形と厳しい気象条件による花崗岩の風化から、多量の不安定土砂が上流域に堆積し、その流出土砂は、梓川の河床を年々上昇させ、土砂災害発生の危険性を高めています。</p> <p>近年においても、昭和 54 年、昭和 58 年、平成 14 年など多数の観光客が足止めされる甚大な土砂災害が発生しました。</p> <p>このため、明神地区の膨大な不安定土砂の再移動・河床上昇の防止及び土砂氾濫防止を図ることにより、自然環境や観光資源の保全と観光客の安全を確保するため、梓川上流床固群の整備を進めています。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 上高地観光アソシエーション http://ww.kamikochi.or.jp 上高地ビジターセンター http://www1.neweb.ne.jp/wa/kamikochi</p>	

